100年先の君の笑顔が見たいから‥

創刊号

ふれあい えのもと通信

榎本社会福祉協議会
会長　木村武史
広報委員会
大阪市鶴見区今津中 1-9-32
電話 Fax　06-6963-0104
Mail cuifj400@occn.zaq.ne.jp

2011.6.28 地域活動協議会 準備委員会発足

大都市の中でも豊かな地域コミュニティが健在といわれる大阪市ですが、少子高齢化や様々な地域環境の変化の中で必ずしも明確な地域の将来像が共有されているわけではありません。大阪市は、地域活動の活性化のために力を入れ、市民による自主的・自律的な地域運営を育てることで地域自身の手で将来像を切り開いていくことを提言しています。

昨年12月鶴見区民センターで開催された鶴見区地域懇談会の中で語られた「地域から大阪市政を変える」はこのような思いを形にし、地域と行政が手を携えて共に歩んでいこうとするものでした。

モデル地域に指定

榎本小学校下では、これまで榎本連合振興町会を中心に榎本社会福祉協議会が多彩でそれぞれ大切な取り組みを展開してきました。地域活動協議会の構想は、榎本の地域にとってはこれまで作り上げ、目指そうとする地域活動と同じ方向を示すものでした。４区７地域（港区市岡、天王寺区大江、聖和、五条、東成区今里、深江、鶴見区榎本）のモデル地区の一つに選ばれました。

みんなでまちづくり

23年1月18日から、地域活動協議会準備会の検討会をもち、地域井戸端会議あいよりでも話し合ってきました。新しい別のことを始めるのではなく、これまでの榎本の地域活動を元気にしていこう、そこに行政の手助けが得られるのは良い機会と受け止め、ふれあい社協まつりや要援護者登録をはじめとした高齢者や障がい者への地域での支援、子どもたちの安全安心をテーマに取り組みを進めてきました。

東日本大震災支援も

そんな中で３月11日の東日本大震災が起こり、私たちの出来ること、今しなければならないことを話し合ってきました。そして義援金募集や青パト寄贈の取り組みにとどまらない広がりを実現することになりました。

準備委員会発足

５月には、準備会の立ち上げを６月に行うことが確認され、榎本社会福祉協議会総会、榎本連合振興町会町会長会議での承認を受けて、６月21日には、榎本地域活動協議会準備委員会の規約、構成団体、役員名簿が検討され、６月28日の地域井戸端会議あいよりで正式に発足することを決定しました。翌６月29日には、鶴見区長に宛てて地域活動協議会準備会認定申請書を提出しました。

今秋の防災訓練を経たところで準備会をとって正式な榎本地域活動協議会の発足を目指しています。

青パト1号 陸前高田市へ!

６月 10 日　午前８時

岩手県陸前高田市へ

木村会長と菱谷副会長が防犯グッズやＴシャツ、飲料水などの救援物資と、地域の人々や榎本小、今津中、汎愛高校、鶴見商高の皆さんのたくさんの寄せ書きに込められたメッセージを青パトの軽トラックに乗せて…そのいきさつなどをお聞きしました。

Ｑ、青パト軽トラックを陸前高田市に寄贈することになった経緯を教えてください。

Ａ、震災後テレビを見ていると、雪のちらつく真っ暗な地で自警団が活躍していました。榎本の軽トラが役に立つと思っていたら、岩手県陸前高田市でほしがっているとのこと、早速地域で青パトを届けたらどうか、と話したら、支援物資や激励も届けることになりました。

Ｑ、どんなものを積んで出発しましたか？

Ａ、社協ふれあい祭りの準備をする中で地域の皆さんの寄せ書きが集まり、汎愛高校、鶴見商業高校、そして今津中学、榎本小学校の子ども達も心のこもった寄せ書きをしてくれました。地元のスーパーから飲料水のペットボトル寄付の申出があり、鶴見区各連合が寄せてくれた資金を元に地元食品会社にレトルト食品を格安で分けてもらい、Ｔシャツ、防犯グッズや「種から育てる地域の花づくり活動」のナタネの種、ヒマワリの種と苗を積み込み、青パト軽トラックで一路東北を目指すことになりました。

Ｑ、いつ誰が陸前高田市へ出かけていったのですか？

Ａ、そうなれば早い方が良いと 10 日に決めました。青パトの隊長である私と菱谷副隊長が行く事になり、帰りの便が無くどうしようと話していたら、鶴見区長の辰己さんが区役所の職員と共に一緒に行きましょうということになり５名で行くことになりました。出発時間の午前８時には榎本連合の皆さんを始め、高校生や小中学校校長などたくさんの見送りを受けました。

Ｑ、どういう経路で行きましたか？

Ａ、名神から北陸自動車道を経て新潟に入り、磐越自動車道を通って郡山へ、そして東北自動車道に入りました。ここまで来ると新しい道路の修復跡も目に入るようになり、14 時間後の午後 10 時、岩手県一関市に到着。一泊して、陸前高田市に向かいました。軽トラックでの長距離運行でしたが不思議に疲れは感じませんでした。

Ｑ、道中の景観はどのような感じでしたか？

Ａ、11 日早朝は、夜半から降り出した雨が止まぬなか出発しました。海岸線に近い街に出ると景色が一変、瓦礫の山はテレビの映像通りでしたが、魚の腐敗したような悪臭の中で、あまりの光景に声も出せません。３ヶ月がたとうとしているのに、津波の破壊力がどれほどのものか思い知る光景でした。陸前高田市はこの地方では珍しく平野部が広く豊かなまちが開けていましたが、道路以外は全て押し流されて何もない光景が広がっていました。

Ｑ、陸前高田での様子はどうでしたか？

Ａ、その日を念頭において来たのではなかったのですが、６月 11 日は、ちょうど震災から３ヶ月目にあたり、14 時 46 分に仮庁舎前で黙祷を捧げるとのことで、参加させていただきました。整然とした被災地の様子は、海外からも高い評価が得られていると報道されていますが、実際には盗難事件が無いわけではなく、道中パトロールする警察車両を多く目にしました。陸前高田市では、以前から青色防犯パトロールの取り組みをされておりましたが、津波に押しつぶされてしまいました。そんな時、私たちの青パト提供の意向が届いたのです。戸羽市長をはじめ市庁舎の方々の厳しい表情が、持参したヒマワリ・ナタネの種苗を見たとき一瞬和やかなお顔をされ、私たちの気持ちが通じた瞬間だと思いました。防犯ライト等の防犯グッズが特に喜んでもらえ、寄せ書きは、市庁舎の１階の玄関付近に掲示し、高校生へのメッセージは高田高校に届けられました。後日、岩手日報の記者から青パト軽トラックが陸前高田の町を走っているとのお話も伝えてくださいました。

Ｑ、被災地を見てこれからどのような取り組みを考えていますか？

Ａ、復興への道のりは想像以上に長いと実感しました。人と人の確かな結びつきがあれば長期の支援をしていくことが出来るだろうと思います。青パトが結んだ「縁」を大切にし、私たちの地域は陸前高田市の皆さんを長期に支援していきたいとの思いを胸一杯に帰阪しました。

地域活動協議会準備委員会発足にあたって

会長 木村武史

今回地域活動協議会のモデル地域指定を受け、準備委員会を立ち上げる事ができました。榎本でのこれまでの活動を発展させれば大阪市が求めているモデル地域としての役割を果たしていけると思っています。当面の課題は防災の取り組みです。これまでもいろんな地域活動をしていますが、情報を発信していく事がとても大切だと思っています。

その意味で今回広報誌が発刊できる事は大変力強く思っています。

お年寄り世帯、困っている人たちに目配せのできる安心安全なまちに、そして若い人、新しくこの地域に来られた方々にも榎本を知ってもらいたい、そして一緒に地域でまちづくりをしていきたいと思っています。

2011年 6月26日 第7回 皆さんに ふれあい社協祭り 聞いてみました

★ バザーコーナー
（女性会）
開場10時前にロープを張っていたほうがスムーズだった。「バザーの返品お断り」の但し書きがあったほうが良かった。10時～約一時間くらい忙しかった。

★ スマートボール（青指）
年々出し物が増えてきて、人の集まりも多くなったと思います。地域の方々が一同に楽しめるイベントとしてこれからも盛大に開催されることを願っています！

★ たません
（子育てサロン）
初めての「ふれあいまつり」初めて「たません」販売のお手伝いでしたが、暑さのせいか、売れ行きは遅いようでした。

★ ジュースコーナー
（イルカの会）
思ったより早く売れました。お茶の売れ行きが良く、もう少しお茶を購入しておけばよかったね…と話していました。ジュースの冷却器があまり効き目がなく（暑さのせいか…）氷がもう少しいる！と話していました。

★ 手作りコーナー
（手芸サークル）
暑すぎて売れ行きが悪い。前半人出が少なかった。

★ あてものコーナー
（ＰＴＡ）
天候に恵まれ（恵まれすぎかも…）大勢の方に来ていただきありがとうございました。良い景品が当たり喜んでいる子どもや、はずれて「がっかり」の子どもたちの顔を見て私たちも元気をいただきました。

★ プレゼントコーナー
（体協）
子どもから大人まで楽しそうにシールを集めてプレゼントを喜んで交換に来ていました。なかなか好評のようでした。ただ交換場所が分かりにくかったのではないかと思われます。

駐車場の売店
大盛況

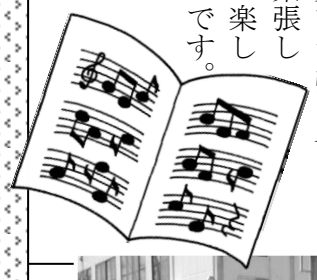
陸前高田
パネル展示

★ 介護（民生）
昨年に比べて来場者が少なかった。毎年試供品のおむつの配布がなくて、不評だった。

★ ざ・ちはや
暑い中でしたが、温かく見守っていただいて、よかったです。メンバー随時募集中です。誰でも参加できます。ぜひご参加ください！

★ つるみまんてんYo!
とりあえず暑かった！でも楽しかったです。

★ オープニング司会
炎天下で張り切りました。緊張したけど楽しかったです。



オープニングにお越し頂いた来賓の皆さま

朝から快晴！パラソル、大活躍！

★ 汎愛高校音楽部
みんな楽しくて良かったです！！ごっつぁんです！！（笑）榎本地域ライブさいこうっ！！猛烈に熱かった！！（倒れた人もいたけどまたよんでください（笑）

汎愛高ダンス部
かっこいい！

★ 今津中吹奏楽部
今日は演奏してみてとても緊張してはずかしかったです。暑い中ほんとうにみなさんに聞いてもらってうれしかったです！

今津中吹奏楽部
しょうず！

★ 鶴見商業音楽部
すごく暑い中お客さんが聞いてくださっていてとてもうれしかったです。演奏中手拍子してくれる方がいて、とてもうれしかったし、楽しかったです。

ニューオーリンズ レッドビーンズ 圧巻！

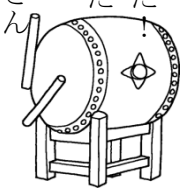
★ 防犯
いつも通り。いうこと聞いてくれる人は聞いてくれる。若い人はよく聞き分けてくれる。

★ 男の台所
炎天下でチヂミ作りはつらいけれどお客様が大勢お出でくださって誠にありがたく、何よりの涼しさで力も入ります。

★ その他ご感想
この時期なら夜店にしては？暑い！バチが当たるかも？やっぱり5月！一ヶ月お祭りが延びたとはいえ、まだ6月末、程々にしてほしいくらい実に暑い！

★ 雅っ鼓
楽しかった！上手にたたけました。

★ お客さん
暑い中ぎょうさん来てくれてうれしい。
結構なこと。
カレー美味しい。ちぢみも美味しい。
えらい人で…みんなうまいことい けてます。



インタビューの
ご協力ありがとう
ございました

☆陸前高田への支援を継続します
具体的な方法は検討していますが当面、町会長へ義援金をお届けいただければ陸前高田へ届けます。

★ あいよりにて（6・28）
○鶴見区役所の皆さんも、個人的に遊びに来て下さって、楽しんで頂けたとお話頂きました。
○会場が分散している時の人の流れを作るのに工夫が必要ですね。
○義援金にも沢山協力頂き、ありがたいと思いました。
○公園のイベントが会館内に移動したこともあり、公園での催し物が寂しかった。
○鶴見商業高校もゲリラ的に参加してくれました！内緒ですが…。
○全体の中での町会の役割を考えたいと思いました。
○地域の高校、中学の参加はとってもいいことだと思いました。
○音楽イベントについて、出演の皆さん、とても張り切って演奏して下さった様に思います！雅っ鼓、清家みえこさん、レッドビーンズ…皆さん素敵でした！
○ふれあい祭りが6月に延期になったことでの弊害イロイロ。暑さ対策は万全に。
○このように皆で話し合えるのは素敵です。

ジャグラーの演技に
子どもたちも大歓声！

編集後記
※ 地域活動協議会の準備委員会発足。モデル地区として本格始動、これからの活躍に期待
※ 青パト1号が東北へ
今まで私たちの安全を守ってくれていた青パトがこれからは陸前高田の安全のために頑張ってくれることでしょう。
※ ふれあい社協まつりに参加してくださった各団体には新しい出会いもあったようで、これからこのつながりを大切に地域が盛り上がっていけますように。

震災復興支援
Ｔシャツ
販売継続中！

榎本の情報満載
是非ご覧ください!

We Are The Enomoto
☆ホームページ
http://www.occn.zaq.ne.jp/enomoto/
☆Twitter　@Enomoto22
☆YouTube　TheEnomoto22
☆Ustream　Enomoto22